

施策評価調書(元年度実績)

					施策コード	Ⅲ-4-(3)	
政策体系	施策名	まちの魅力を高める交通ネットワークの構築	所管部局名	土木建築部、企画振興部		長期総合計画頁	153
	政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	関係部局名	土木建築部、企画振興部			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	産業や生活を支える道づくりの推進	快適な都市空間の形成	利便性の高い公共交通サービスの充実

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i 対策を講じる主要渋滞箇所数(箇所)	①、③	H26	-	21	19	90.5%	30					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 概ね達成	整備を計画的に進め、概ね目標値を達成した。		概ね達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・大分空港道路の4車線化や大泊浜徳浦線深江工区などの開通により、集落間の連携・交流が促進された。
②	・大分市の骨格を形成しICへのアクセスを向上させるため、(都)庄の原佐野線下郡工区の用地取得を推進した。 ・「リポーン197協議会」の提言に基づき県都の顔となる国道197号の城址公園から日本銀行大分支店までの再編工事を推進した。 ・宇佐市の安心院支所前でラウンドアバウトの社会実験を開始した。
③	・バスなび大分やバスどこ大分、交通系ICカードの利用促進のため、ラジオ放送等による広報を行った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	(公)道路改良事業	—	324
	道路改良事業	—	328
②	街路事業	—	328
③	共生のまち整備事業	—	81

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(R1.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路「大分中央幹線道路」(庄の原佐野線)の「下郡工区」の早期完成に向け、継続的な事業の推進をお願いします。 ・国道197号の鶴崎橋、乙津橋4車線化事業の促進をお願いします。 <p>○滝尾・明野地区促進期成会からの要望(R2.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路「大分中央幹線道路」(庄の原佐野線)の「下郡工区」の早期完成を要望する。 	<p>○大分県商工会議所連合会知事要望(R1.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備を円滑に進めるための財源確保について特段の配慮と国への一層の働きかけをお願いします。 ・国道197号鶴崎地区の4車線化の早期整備 ・国道442号(上宗方～市間)の早期整備
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・国道212号(響峠)や主要地方道中津高田線(今津)など産業・生活を支える道路や、県道古江丸市尾線(葛原～丸市尾)など集落間の連携・交流を支える道路整備を引き続き推進する。 ・大分都市圏をはじめとした都市部において未だ慢性的に渋滞が生じている箇所も多いことから、国道197号(鶴崎拡幅)、国道442号(宗方拡幅)等の整備を進め渋滞緩和を図る。 ・湯けむり景観を向上させる別府市鉄輪地区の国道500号の無電柱化など、快適な都市空間の形成を図る。 ・ラウンドアバウトによる交差点での安全性の向上や通行の円滑化等により、安全で快適な通行環境をつくるため、社会実験の効果を検証し、今後の整備方針を検討する。